

2018年12月10日

報道関係各位

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
学校法人國學院大學

SDGs を基礎にした社会づくりを追求

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社×國學院大學 包括的な連携協定を締結

～渋谷発 地域連携、人材育成、文化・芸術・スポーツ振興などで連携事業を実施～

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（東京都渋谷区恵比寿 1-28-1、代表取締役社長：金杉恭三、以下「あいおいニッセイ同和損保」）と、学校法人國學院大學（東京都渋谷区東 4-10-28、理事長：坂口吉一）は、国連が提唱する「SDGs」を基礎に誰もが幸せになれる社会の実現を目標とした取り組みに関する包括連携協定の締結に合意いたしました。2018年12月7日（金）の調印を以って正式な締結となります。

***** 包括協定の特徴 *****

ダイバーシティを切り口に、個性と協働の強みを生かし“渋谷”から発信する

ダイバーシティやサステナブル社会の実現を目指し「共存学」という学際的な研究を長らく行ってきた國學院大學と、女性の活躍・障がい者雇用と定着支援・LGBT理解促進などアセットを持つ、あいおいニッセイ同和損保が両者の強みを生かし、ダイバーシティの街“渋谷”からSDGsを基礎として連携をしていきます。（詳細は別紙参照）

様々な人が集う国際都市“渋谷”から、健康的で文化的な生活を視点に、「人」「街」「環境」を考える

若者からお年寄り、学生からビジネスパーソン、地方出身者から訪日外国人まで様々な人々が集う渋谷。その渋谷に拠点を置く組織として、渋谷から「人」「街」「環境」を考え、SDGsを基礎に連携いたします。（詳細は別紙参照）

2019年4月より連携事業開始、「地域連携」「人材育成」「文化・芸術・スポーツ」の3つの柱で展開

協定締結後、定例合同会議を実施し、今後の連携事業の具体的展開を設計します。2019年4月からの本格的連携開始を目指します。（詳細は別紙参照）

包括協定締結後の作業スケジュール

年度	作業
2018年度	<input type="checkbox"/> 合同検討会議実施（隔週開催予定） <input type="checkbox"/> 今後2年間の連携事業の検討（各年度の目標・テーマ・内容） <input type="checkbox"/> 2019年度連携事業の詳細設計
2019年度	<input type="checkbox"/> 合同検討会議実施（月1回開催予定） <input type="checkbox"/> 当該年度連携活動の準備、調整 <input type="checkbox"/> 2020年度連携事業の詳細設計
2020年度	<input type="checkbox"/> 合同検討会議実施（月1回開催予定） <input type="checkbox"/> 当該年度連携活動の準備、調整 <input type="checkbox"/> 次のタームのテーマ・目標・内容の検討

以上

あいおいニッセイ同和損保×学校法人國學院大学 包括協定に関するコンセプト（ストーリー）

両者の強みを生かす

ダイバーシティを切り口に

女性の活躍進出・障がい者雇用と定着支援・LGBT理解促進など、あいおいニッセイ同和損保が持つ資産（アセット）と、國學院大学の持つ共存学に代表される教員の研究・女子学生就活支援・障がい学生支援の取り組みなどの資産はいわば「ダイバーシティ」という一つの枠組みでくくることができます。

個性と協働の強みを生かし

個性を生かしたたチーム作り（共生）を組織文化として持つ両者が協働し、「ダイバーシティ」を基礎にお互いの強みを生かして社会に一石を投じる取り組みを実施していきます。

“渋谷区”から発信する

そして、ダイバーシティの街“渋谷区”から様々な取り組みを発信し続ける意味・価値が大切です。渋谷区からの協力・助言を仰ぎつつ、まずは渋谷区の住民・ビジネスパーソンから支持を受け、長らく渋谷区から発信し続ける取り組みを展開していくことが求められます。



国連が提唱する「SDGs」を基礎に、
誰もが幸せになれる社会の実現を
渋谷区から考え発信する連携

なぜ「渋谷区」なのか

様々な人が集う“国際都市”

渋谷区に住む人は約22万人、ビジネスパーソンなどを含めた昼間人口は約54万人、訪日外国人数ランキングでは全国4位。若者からお年寄り、学生からビジネスパーソン、地方出身者から外国人まで、駅前のスクランブル交差点がそれを象徴するように、様々な人が行きかう街、それが渋谷区です。

健康的で文化的な生活をめざす街

しかし、渋谷区を歩きかう人々にも個性があり、様々な生活環境があり、大切に思う家族や友人がいます。そのひとりひとりが健康的で文化的な生活を送ることこそが、渋谷区という街が発展する原動力となります。

両者共通の本拠地

この地で100年近く渋谷区の街を見守ってきた國學院大学には、研究・教育というアセットを使い、渋谷区に貢献する使命があります。そして、地域に密着し“人々の生活を守る”ことを生業としてきた、あいおいニッセイ同和損保とがお互いに手を取り合い、同じ渋谷区を拠点とする両者が、渋谷区の「人」「街」「環境」を考えることは大変意義深いことであります。

進化し続ける連携を目指して（協定締結後の流れ・スケジュール）

▼ 包括協定3つの柱（プログラム）と連携事業案

誰もが幸せになれる社会実現に向けた 地域連携プログラム

【事業の一例】

- ・ 共働き家庭の子育てを応援するイベントの展開
- ・ SDGsについて、渋谷区・恵比寿ができることは何かを考えるイベントの展開
- ・ 地域連携講座「女性の活躍が支えるこれからの日本」の展開
- ・ きれいな街“渋谷区”を目指した清掃活動

個の力で社会に貢献する 人財育成プログラム

【事業の一例】

- ・ 女子学生のためのキャリア講座への講師派遣
- ・ ダイバーシティやSDGsやユニバーサルマナーをテーマとしたワークショップ型授業の検討
- ・ 國學院大学が展開する「共存学」を活用したSDGs関連の人材育成プログラムの検討
- ・ SDGsの目標達成に向けた合同研究会
- ・ ベルマーク収集活動

文化・芸術・スポーツ振興に 関するプログラム

【事業の一例】

- ・ 障がい者スポーツ関連イベントの共同開催
- ・ パラリンピック2020への共同支援活動
- ・ 國學院大学バスケットボール部と、あいおいニッセイ同和損保バスケットボール部の交流
- ・ あいおいニッセイ同和損保の「椿コレクション」の國學院大学博物館での特別展示イベント実施

※ 上記展開はあくまでも一例です。実際の展開は今後両者間で協議のうえ、検討を進めていきます。

▼ 協定締結後の流れ（予定）

- 協定項目である「文化・芸術・スポーツ振興に関するプログラム」に基づくイベント（ポッチャ交流戦）を開催 <H30.12>
- 連携事業について両者で検討会を実施し、当該年度の連携事業計画を策定（目標・テーマ・内容等詳細を決定） <～H31.3>
- 連携事業計画に基づき、協定項目の各種プログラムを実施 <H31.4～>
- “進化し続ける連携”を目指し、PDCAサイクルを回して連携事業活動を継続実施 <H32.4～>